

NEWS 310

Vol.02 平成 30 年 7 月号

NEWS 310（ニュース サド）は佐渡観光交流機構の会員様向けニュースレターです。佐渡観光交流機構は、会員様はじめ佐渡の観光に関わる様々な方々の意見を尊重します。ご意見、ご感想をぜひお聞かせください。また、観光 PR のための写真画像、映像、イベント情報等がございましたらご提供いただけますと幸いです。佐渡観光交流機構を今後ともよろしく願っています。

・「佐渡体験パック」の発売を開始しました

昨年度に引き続き、特定有人国境離島地域社会維持推進交付金を活用した旅行パック商品「ジェットフォイルで行く！佐渡体験パック」の販売を 5 月 29 日から開始しました。佐渡の魅力を経験していただくことを目的としたこの旅行商品は、佐渡汽船のジェットフォイル往復乗船代、1泊2食付きの宿泊代、体験付き会員バスをセットにしたものです。会員バスのコースは季節に合わせたレジャー、歴史、味覚を経験していただくため、7つのコースを設定しています。販売は佐渡汽船株式会社のホームページと窓口です。今後は JR 東日本のびゅう商品での販売も予定しています。

・夏の体験プログラム「サドベンチャー」の販売を開始しました



今年で 5 年目となる夏の期間限定の企画「サドベンチャー！」。佐渡の豊かな自然と人の温かさに触れてもらう、個人向けの商品です。ファミリーを中心に、昨年は 1,320 名の参加があり、島内はもちろん、新潟市、上越市、京都や三重県からもお越しいただきました。新たなコースとして、ヨットセーリングやシーカヤック、竹のアスレチックや民話めぐりなど 6 コースを加え、全 31 コースをご用意！今年は特に長野県のお客さまをターゲットに、海の体験の豊富さを PR しています。大人だけの参加も OK！ぜひお客様にご紹介いただけますようお願いいたします。

・台湾でインバウンド商談会を行いました

昨年より遠東航空により定期便として運航している新潟・台北便の効果として、佐渡への台湾からのツアー客が倍増しており、佐渡島内の観光関係施設を中心に新潟市、長岡市の関係者と現地での観光商談会を企画し、5 月 10 日(木)に台中市、5 月 11 日(金)に台北市のホテルにて開催しました。台中市では旅行業者 50 名、台北では旅行業者 80 名から参加いただき、

佐渡からのプレゼンの後、参加者がブースにて商談を行い施設のPRを行いました。台湾での新潟・佐渡への関心は高まっており参加者に多くの情報を伝えることができました。従来より送客いただいている台中および台北の旅行業者の方々とも交流を深めることができ、今後の誘客にも期待しています。

・民泊体験受入れを行っています

佐渡では以前から新潟県内（新潟市、長岡市、上越市など）や長野県内、福島県内等から多くの子どもたちが訪れ、修学旅行及び臨海学校と称した体験学習活動が積極的に行われてきました。宿泊体系で見ますと、学校の要望等を踏まえて、ホテル・旅館・民宿・公共施設など様々な施設をご利用いただいておりますが、その8割以上が1泊2日という短期宿泊であり、残りが2泊3日となっています。平成20年度より、国では総務省、文部科学省、農林水産省が連携し「子ども農山漁村交流プロジェクト」という事業をすすめています。この事業の特徴は、子どもたちが2泊3日以上での宿泊体験活動を行うものであり、農山漁家宿泊を取り入れて実施することとなっております。なかでも、農山漁家での民泊などを通じて農山漁村の生活を実際に体験すること、農山漁業体験を通じて、食の大切さを学ぶことが大きな特色です。普段の生活とは異なる環境や人間関係の中に身を置き、様々な実体験を行うことは、子どもたちの新たな一面を引き出し、成長を促す効果があります。

・教えて！DMO

私たち一般社団法人佐渡観光交流機構は、日本版DMOとして4月1日より活動しております。観光産業で沸騰中の「DMO」っていったいなに？佐渡観光交流機構が「DMO」についてわかりやすくお伝えします。



DMOとは・・・

「Destination Management/Marketing Organization」の略で、**観光のマーケティングや商品開発などを一体的に進める組織のことで地域の「稼ぐ力」を高め、観光業の恩恵を地元にもたらすことが狙い**です。

4月より宿泊施設や観光施設などを会員とする「佐渡観光協会」と、地域に根ざした観光交流を行う「佐渡地域観光交流ネットワーク」が「佐渡観光交流機構」として合併し**佐渡の新しい観光プラットフォームとしてこれから地域住民を始め、行政、商工業、飲食業、農山漁業、宿泊施設、交通事業者と連携をして観光地域づくりを行っていきます。**